



最近少々残念な出来事があった。わが家のWi-Fi(無線LAN)は10年以上前に設置し、いまだADSL(非対称デジタル加入者線)という旧式のまま。NTTからは光回線にと勧誘の電話が再三かかってきた。

サービス停止も近づいたので迷った末、地元の会社に新型を依頼。NTTには契約解除の電話をするものの何度かけても「た

民営化～五現業 三公社



草野 義輔

だ。JRもしくはらくは親方日の丸は有るようだが、要は独占的な国営企業の硬直化した体質を民営化によって競争原理の中に置き、自立性を高め、より柔軟な組織にして国民目線の会社にするのが狙いであったはずだ。

JRもしばらくは親方日の丸体質が抜けない、といわれてきた。NTTには有力な競争会社があり民営化は順調かと思っていたが、まだまだのようだ。公営企業の民営化＝体質改善がいかに困難か、つくづく感じさせられた出来事だった。

だいま混み合っていて…との音声。やっとながり事情説明したところ、モデムやプリンタ(どんな機器かお分かりだろうか?)の返却を—などと勧誘時とは一変してクールに対応されてしまった。民営化して35年もたつので、もう少し顧客サービスの雰囲気があ

(昭和学園高校理事長・日田市)

るのかと思っていたが残念な対応と感じた。

かつて三公社五現業というものがあり以前は一般常識問題などによく出されていた。

三公社とは国鉄、専売公社、電電公社のこと。今では全て民営化され、それぞれJR、JT、NTTとなった。民営化はさまざまな理由